

部局名	子ども部	所属名	子育て支援課	所属長名	野口 啓子	電 話	483-1151 内線2270
-----	------	-----	--------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3837		事務事業名称	ファミリー・サポート・センター運営事業					短縮コード	経常	3837	臨時	4112
予算区分	会計	01	一般会計	款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		八千代市ファミリー・サポート・センター事業実施要綱							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
・平成11年3月に子育てプランの作成にあたり、市民から仕事と育児の両立支援の環境整備を求める意思が出され、子育てプランに盛り込まれた。 少子化対策臨時特別交付金の交付も受け、平成12年度より、開設した。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	01	健康福祉都市をめざして						
・少子化傾向が益々著しくなり、経済不況により、安心して子育てと仕事等が両立できる社会環境が必要。 ・この事業を通して、ひとりぼっちの子育てをなくしていくために、地域で子ども達と家庭を支えるご近所づくりを促進していくことが必要。					大項目（節）	02	社会福祉						
					中 項 目	01	児童福祉						
					小項目（施策）	03	地域子育て支援体制の充実						
					細 項 目	01	地域ぐるみ支援体制の充実						
				実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	0歳から10歳《小学校4年生）までの子どもとその保護者							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成20年度に実際に行ったこと： 相互援助活動の斡旋（依頼会員からの保育の依頼に対し、事前面接の上、保育をしてもらう協力会員を斡旋） 各機関への説明と市民へのPR活動（広報誌の発行） 会員の募集・説明会・会員への基礎研修会の開催及び資料作り 職員研修会・会員との交流会 地域リーダー会員との情報交換							
	※平成21年度に計画していること： 20年度と同様							
意図 （何を狙っているのか）	・依頼会員の児童を協力会員が保育することで、依頼会員は安心して、仕事等と子育ての両立が出来る。 協力会員と依頼会員との関わりから、子育ての連帯感が生まれ、地域の輪が広がり、助け合いの精神が育つ。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	19年度	20年度		21年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	保育を必要とする依頼会員	人	2,819	3,000	2,270	2,500	
	指標2	市内の人口	人	188,624	191,000	191,469	194,000	
	指標3							
活動指標	指標1	相互活動の斡旋件数	件	2,819	2,900	2,270	2,500	
	指標2	協力会員と依頼会員の登録の数	人	993	1,000	1,016	1,000	
	指標3							
成果指標	指標1	依頼会員が保育を依頼した数と斡旋件数の割合	%	100	100	100	100	
	指標2	市内の人口と協力会員・依頼会員登録数の割合	‰	0.52	0.52	0.53	0.62	
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード	3837	事務事業名称	ファミリー・サポート・センター運営事業				所属名	子育て支援課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			会員登録手続きの簡素化・センター増設			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☒ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
	☐ 廃止(事業完了含む)							
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
今後の方向性	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			センターの増設・職員増	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
センターの増設									

所属長コメント	会員を増やせるよう、情報発信の仕方をより工夫をしていく。会員の声を拾いあげ事業に反映させていく。								
	評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続 ☒ 手法プロセスの改革・改善 ☐ 事業規模の拡大・縮小 ☐ 統合・役割見直し ☐ その他 ☐ 廃止(事業完了含む) ☐ 休止 ☐ 現状のまま継続	担当課の評価のとおり，課題解決に努め，可能なことは順次推進。センター増設については，費用対効果等を慎重に検証すべき。						